

## 平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 株式会社正興電機製作所 上場取引所 福

コード番号 6653 URL http://www.seiko-denki.co.jp/

代 表 者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福重 康行 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括本部長 (氏名) 田中 勉

(TEL) 092-473-8831

四半期報告書提出予定日

平成29年8月3日 配当支払開始予定日

平成29年8月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無

:有 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

( ) / (C)	( / 0 -	201000	1 1 -1 -1 L	71-0//20 1-/				
売上高		<u> </u>	営業利	益	経常利	益	親会社株主に 四半期純	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	9, 377	△4.6	410	△19.5	426	△13.6	287	6. 5
28年12月期第2四半期	9, 830	3.0	510	8.8	493	3. 9	270	△4. 0
(\1) \( \Lambda \) \( \Lambda	144 0 mm 1/ #0	CE 7 -	T T C C	0/\ 00 F	10 11 #11 #17 0 1111	M #0	410 <del>~~</del> ~~	100 00()

(注)包括利益29年12月期第2四半期 657百万円(56.9%)28年12月期第2四半期 419百万円(△38.0%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	25. 21	_
28年12月期第2四半期	23. 66	_

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	17, 682	7, 871	44. 5
28年12月期	18, 283	7, 316	40. 0

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 7,871百万円

28年12月期 7,316百万円

#### 2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末	合計						
	円銭	円銭	円銭	円銭	円 銭			
28年12月期	_	6. 00	_	9. 00	15. 00			
29年12月期	_	6. 00						
29年12月期(予想)			_	7. 00	13. 00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年12月期期末配当金の内訳 普通配当 7円00銭 記念配当 2円00銭

### 3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日~平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 22, 500	% 12. 8	百万円 1, 100	% 27. 0	百万円 1, 100	% 27. 6	百万円 650	% △4. 0	円 銭 56.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社 、除外 —社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

## (4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期 2 Q	11, 953, 695株	28年12月期	11, 953, 695株
29年12月期 2 Q	535, 367株	28年12月期	535, 201株
29年12月期 2 Q	11, 418, 402株	28年12月期 2 Q	11, 418, 766株

- ※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	. 2
(1) 経営成績に関する説明	. 2
(2) 財政状態に関する説明	. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	, 3
2.四半期連結財務諸表及び主な注記	. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	۶ .
(継続企業の前提に関する注記)	۶ .
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	۶ .
(セグメント情報等)	۶ .

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1)経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調で推移しました。その一方で、海外では米国新政権の政策に対する懸念や、中国を始めとするアジア新興国の経済の不確実性など、世界経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画「SEIKO IC2017」のもと、コア事業の基盤強化による事業の拡大と高収益化等の課題に取り組んでまいりましたが、依然として電力会社向けの売上が低調となったことや、売上が全体的に例年に比べ第4四半期に集中していることなどにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,377百万円(前年同期比 4.6%減)となりました。

損益につきましては、営業利益は410百万円(同 19.5%減)、経常利益は426百万円(同 13.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は287百万円(同 6.5%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (電力部門)

電力システム改革に対応したシステム開発やメンテナンス・リプレース分野に取り組んでまいりましたが、電力会社の設備投資抑制等の影響が続き、配電機器製品の落込みなどもあり、売上高は2,075百万円(前年同期比25.9%減)、セグメント利益は52百万円(同 76.8%減)となりました。

#### (環境エネルギー部門)

道路向け受配電設備や水処理場向け監視制御システムが堅調に推移し、また、一般産業向け受配電システムが増加したことにより、売上高は5,599百万円(前年同期比 7.2%増)、セグメント利益は295百万円(同 103.0%増)となりました。

#### (情報部門)

ヘルスケアシステムや港湾関連システム等のクラウドサービスの拡大に注力してまいりましたが、金融関連などシステム開発分野が落込み、売上高は455百万円(前年同期比 17.7%減)、セグメント利益は23百万円(同 11.1%減)となりました。

### (その他)

電子制御機器や液晶複合膜フィルム関連が低調に推移し、売上高は1,246百万円(前年同期比 0.3%減)、セグメント利益は38百万円(同 64.9%減)となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

## (流動資産)

当第2四半期連結会計期間の流動資産の残高は、前連結会計年度と比較して1,187百万円減少の10,524百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が806百万円減少したことや現金及び預金が270百万円減少したことによるものであります。

#### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間の固定資産の残高は、前連結会計年度と比較して585百万円増加の7,157百万円となりました。これは主に、投資有価証券が時価の上昇等により512百万円増加したことによるものであります。

### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間の流動負債の残高は、前連結会計年度と比較して1,304百万円減少の7,161百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が210百万円減少したこと、電子記録債務が150百万円減少したことや未払法人税等が105百万円減少したことによるものであります。

### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間の固定負債の残高は、前連結会計年度と比較して147百万円増加の2,648百万円となりました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間の純資産の残高は、前連結会計年度と比較して554百万円増加の7,871百万円となりました。これは主に、利益剰余金が剰余金の配当により102百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により287百万円増加したことやその他有価証券評価差額金が時価の上昇等により358百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成29年2月9日に発表いたしました予想に対し、変更はありません。

# 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,626	1, 355
受取手形及び売掛金	7, 493	6, 687
商品及び製品	293	441
仕掛品	1, 612	1, 461
原材料	329	335
その他	375	261
貸倒引当金	△19	△18
流動資産合計	11, 712	10, 524
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2, 140	2, 082
その他(純額)	1, 149	1, 178
有形固定資産合計	3, 290	3, 261
無形固定資産	197	301
投資その他の資産		
投資有価証券	3, 017	3, 530
その他	91	88
貸倒引当金	△26	$\triangle 24$
投資その他の資産合計	3, 082	3, 593
固定資産合計	6, 571	7, 157
資産合計	18, 283	17, 682
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2, 513	2, 302
電子記録債務	1, 387	1, 236
短期借入金	2, 285	2, 191
未払法人税等	172	67
賞与引当金	-	261
工事損失引当金	5	11
その他	2, 101	1,091
流動負債合計	8, 465	7, 161
固定負債		
長期借入金	166	130
退職給付に係る負債	1, 775	1,801
その他	559	716
固定負債合計	2, 500	2, 648
負債合計	10, 966	9,810

( ))( )			_	_	$\Box$	
(単位	1/	•	$\Box$	$\vdash$	щ١	

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 323	2, 323
資本剰余金	1,640	1,640
利益剰余金	2, 707	2, 892
自己株式	△248	△248
株主資本合計	6, 422	6, 607
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1, 169	1, 528
為替換算調整勘定	△101	△100
退職給付に係る調整累計額	△173	△163
その他の包括利益累計額合計	894	1, 264
純資産合計	7, 316	7, 871
負債純資産合計	18, 283	17, 682

# (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	(単位:百万円) 当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
売上高	9,830	9, 377
売上原価	8, 027	7, 661
売上総利益	1,802	1,715
販売費及び一般管理費	1, 292	1, 305
営業利益	510	410
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	22	31
受取賃貸料	6	7
その他	8	9
営業外収益合計	38	48
営業外費用		
支払利息	19	18
持分法による投資損失	-	2
為替差損	23	-
その他	11	11
営業外費用合計	54	32
経常利益	493	426
税金等調整前四半期純利益	493	426
法人税、住民税及び事業税	132	26
法人税等調整額	90	112
法人税等合計	223	138
四半期純利益	270	287
親会社株主に帰属する四半期純利益	270	287

## 四半期連結包括利益計算書 第2四半期連結累計期間

		(単位:百万円)_
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	270	287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	115	358
為替換算調整勘定	22	0
退職給付に係る調整額	11	10
その他の包括利益合計	149	369
四半期包括利益	419	657
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	419	657

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日) 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

- I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

		報告セク	ゲメント		・ その他 (注)1	合計		四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電力部門	環境 エネルギー 部門	情報部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,802	5, 223	553	8, 579	1, 250	9, 830	_	9, 830
セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	48	176	224	773	998	△998	_
<b>☆</b>	2, 802	5, 272	729	8, 804	2, 024	10, 828	△998	9, 830
セグメント利益	227	145	26	399	110	510	_	510

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器、電子装置、(高分子/液晶)複合膜フィルム等の製造販売、汎用電気品等の販売であります。
  - 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
- Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				7. D (1)			四半期連結
	電力部門	環境 エネルギー 部門	情報部門	計	その他 (注) 1	合計	調整額	損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	2, 075	5, 599	455	8, 130	1, 246	9, 377	_	9, 377
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	10	155	166	601	767	△767	_
計	2, 076	5, 610	610	8, 297	1,847	10, 145	△767	9, 377
セグメント利益	52	295	23	371	38	410	_	410

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器、電子装置、(高分子/液晶)複合膜フィルム等の製造販売、汎用電気品等の販売、電気工事、機械器具設置工事であります。
  - 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。